

# 将来ビジョン 「社会貢献」

## 社会貢献

地域社会の  
活性化に貢献

- 岐阜県との連携による教育研究の推進と地域貢献（防災・減災センター事業の推進、岐阜県中央家畜保健衛生所・食品科学研究所のキャンパス内移転、ぎふ地域学校協働活動センターの設置、航空宇宙生産技術開発センターの立上げ）
- COC事業とCOC+事業の推進（地域志向人材の育成・認証）
- 産官学連携事業による地域産業界への貢献を推進（東海（中部）コンソーシアム化、産学金官プロジェクト）
- ダイバーシティ戦略の県内展開



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立  
大学機構



岐阜大学

## 企画展「岐阜大学コレクション展」を開催

### 【概要】

本学が所有する貴重な学術、歴史資料を紹介する企画展「岐阜大学コレクション『岐阜県』を知るために一展」が令和元年12月14日（土）から令和2年3月1日（日）まで、美濃加茂市蜂屋町的美濃加茂市民ミュージアムで開催されました。

この企画展では、本学が創立70周年を機に整備し、各学部が集めた資料を収蔵、展示する「アーカイブ・コア」の収蔵品、本学教育学部附属郷土博物館所蔵品を紹介し、古文書や植物標本、出土品など262点を展示しました。



### 【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/12/14	岐阜	古文書や植物標本 岐阜大資料を展示 美濃加茂できょうから ～「岐阜大学コレクション『岐阜県』を知るために一展」～
2020/2/19	毎日	岐阜大所蔵の資料 県史ひもとく260点 美濃加茂で企画展

## 岐阜県内公共団体との連携協定締結状況

### 【概要】

本学と瑞穂市は、令和元年12月24日（火）にまちづくり及びコミュニティの活性化や人材育成、産業の振興及び地域情報化等、6項目の包括的な協定を締結しました。

協定締結式では、森脇学長から「瑞穂市は都市圏にあり、まちづくりが成功しており、その三つの強みとして、岐阜県下において人口が伸び続けており、一次・二次・三次産業がバランスよく配属されており経済力が強く、市内に朝日大学があり教育力も強いまち、と認識している。これからは包括連携協定の下で、大学側が勉強させていただくことが多いと思われ、これまでの個別の協力を束ねることによって、大学にとっても瑞穂市にとってもより良い方向に持っていきたい。」と、森瑞穂市長からは「これから10年ぐらいは人口が伸びていくと予測されているが、その後減少するため、人口が増えている間に、しっかりとした都市としての基盤づくりや、地域の絆を深めるために、今回の協定の中で大学の協力を得て、まちづくりや人材育成を進めていきたい」と挨拶がありました。



左：森瑞穂市長、右：森脇学長  
(26件目の包括連携協定)

本学と飛騨市は、令和2年2月28日（金）に人口減少時代のまちづくりに関すること、地域との交流推進に関すること等、8項目の連携に関する協定を締結しました。

協定締結式では、森脇学長から「飛騨市は非常にバラエティに富んだ地域であり、本学学生が地域に溶け込む形でデザイン的思考を働かせつつ、地域貢献したい」と、都竹飛騨市長からは「飛騨市は人口減少先進地であり、様々な重要な問題を抱えている地域である。課題を解決するためには、岐阜大学との連携が必要不可欠である。今回は非常に楽しみな協定締結である」と挨拶がありました。



左：都竹飛騨市長、右：森脇学長  
(27件目の包括連携協定)

## 岐阜県内公共団体との連携協定締結状況

### 【概要】

本学と瑞浪市は、令和2年3月10日（火）に地域の活性化及びまちづくりに関すること、防災及び環境施策の推進に関すること等、8項目の連携に関する協定を締結しました。

協定締結式では、森脇学長から「本学は地域活性化の中核拠点であることをミッションとしており、4月の名古屋大学との法人統合後も、この部分については不変である。地域活性化の中核人材を育てるために、域学協働という動き方ができることを大変感謝している。」と、水野瑞浪市長からは「岐阜大学の学生に瑞浪市をキャンパスとしてさまざまな課題に取り組んでいただき、日本をリードする人材に成長していただきたい。その中から瑞浪市で活躍する人材も期待したい。」と挨拶がありました。



左：森脇学長、右：水野瑞浪市長  
(28件目の包括連携協定)

### 【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/12/25	岐阜	地域リーダーを育成 瑞穂市と岐阜大が連携協定 ～ 森脇久隆 学長 ～
2019/12/27	中日	瑞穂市と岐阜大が人材育成など協定 市役所で締結式 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/2/29	岐阜	人口減解決策を探る 岐阜大と飛騨市が連携協定 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/2/29	中日	人材育成など包括連携協定 岐阜大と飛騨市 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/3/3	日本経済	「過疎学」研究で包括連携協定 岐阜大と飛騨市
2020/3/26	読売	瑞浪市 岐大と協定

## 岐阜県気候変動適応センター設置に関する協定を締結

### 【概要】

令和2年1月17日（金）、本学は岐阜県と岐阜県気候変動適応センター設置に関する協定を締結しました。

岐阜県気候変動適応センターは令和2年4月に本学構内に設置され、本学から気象、水環境、森林、農業を研究する研究者十数名が参加し、岐阜県内における気候変動影響及び気候変動適応に関する情報を収集・整理・分析し、県内の産業、自然環境などに生じる様々な影響を予測し、ニーズに応えた適応策を研究します。

そのほか、リスクマネジメントに取り組む人材育成や研究成果を情報発信し、普及啓発を推進します。平成30年度に気候変動適応法が施行され、全国で気候変動に対する取り組みが求められている中、大学と自治体が共同で設置することは全国初の取り組みになります。

協定締結式では、森脇学長から「県行政機関と大学がここまで密に連携したセンターは日本初である。また、4月から東海国立大学機構岐阜大学がスタートするが、本学の地域貢献を進める体制に変わりはない。今後も県と協力していく」、古田岐阜県知事から「県と大学での相乗効果で良い結果を生みたい」と挨拶がありました。

今後、本学は岐阜県と協力して、気候変動適応に向けた取り組みを進めていきます。



左：古田岐阜県知事、右：森脇学長

【メディア掲載】

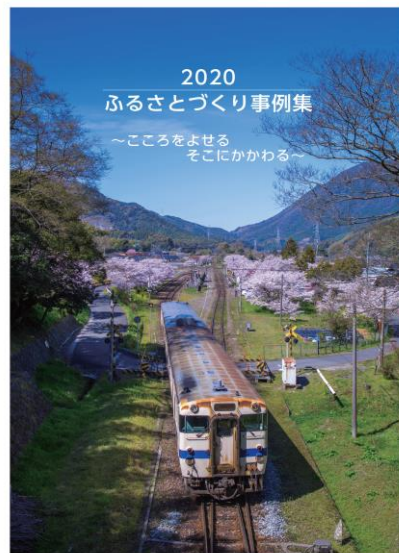
掲載日	新聞社名	内容
2020/1/18	岐阜	県と岐阜大，気候変動の情報収集 センター設置で協定 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/1/18	中日	県と岐阜大 気候変更適応研究で協定 全国初 今春拠点を設置 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/1/20	朝日	気候変動に対応，県と岐大連携 4月に「適応センター」開設 ～ 森脇久隆 学長 ～
2020/1/23	読売	気候変動 官学で対応 県と岐阜大，センター設置 農林水産業や災害研究

## 2020ふるさとづくり事例集に 岐阜大学地域協学センターが掲載されました

### 【概要】

令和2年8月5日にふるさと活性化支援チームにより内閣総理大臣に手交された、全国各地の地域活性化策を紹介する「2020ふるさとづくり事例集～ここをよせる そこにかかわる～」に、教育的かかわりとして、「『地域活性化の中核拠点』として地方創生に貢献 東海国立大学機構岐阜大学地域協学センター」が掲載されました。

ふるさとづくり事例集は、全国のふるさとづくりの101の優良事例がとりまとめられたものであり、単に事例を紹介するだけでなく、現在に至るまでの紆余曲折のプロセスを含めて取り組みの成果を掲載するとともに、団体のQRコードやwebサイト、視察の可否等も掲載されており、ふるさとづくりに取り組まれる方への課題解決のヒントにつながるもので、本事例集に大学で取り上げられているのは、岐阜大学と香川大学のみです。



報告の様子



森脇学長との記念撮影

### 【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2020/9/25	中日	地元志向の人材育成に評価 政府のふるさとづくり事例集掲載 ～ 森脇久隆 学長、地域協学センター 益川 浩一 センター長 ～

## 航空宇宙生産技術開発センター開所

### 【概要】

国内初となる航空宇宙生産技術に関する科学的・体系的な教育・研究開発を行う拠点として、岐阜大学に設置されました。産学金官が連携し、将来の航空宇宙産業界に必要とされる人材の育成、研究開発を行います。2020年より、東海国立大学機構 航空宇宙航空宇宙研究教育拠点 の組織として、名古屋大学とともに活動しています。

航空宇宙産業の集積度が高い中部圏は、内閣府により国際戦略総合特区として指定され、今後も成長が期待されています。労働集約型工場が多い航空宇宙産業では、抜本的な生産性向上が求められていますが、そのために必要とされる生産技術は、関係する学問や技術分野が極めて広く、網羅的に教育・研究を行う機関が求められていました。

当センターでは、岐阜大学が持つ航空宇宙生産技術と、名古屋大学が持つ航空宇宙設計技術の互いの強みを生かし、必要とされている教育・研究、地域企業との連携を行うことで、魅力ある大学づくりと地域産業のさらなる発展を支えます。

令和3年4月19日（月）には、航空宇宙生産技術開発センター開所記念式典を執り行い、古田肇岐阜県知事、松尾清一東海国立大学機構長、森脇久隆岐阜大学長、その他岐阜県や企業の関係者等およそ45名が開所記念式典に出席し、本センターの本格運用開始を祝福しました。

式典では、関係者による挨拶の後、テープカットで開所を祝い、グループに分かれて施設内を見学する内覧会が行われました。また、式典終了後には、「空飛ぶクルマ」と題して、株式会社スカイドライブの最高技術責任者 岸信夫氏による講演が行われ、オンライン配信も含めおよそ400名の関係者や学生が聴講しました。



テープカット



内覧会



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/4/5	毎日	生産性向上 地方創生へ ～ 航空宇宙生産技術開発センター長 小牧博一さん ～
2021/4/20	岐阜	航空宇宙産業の国際競争力向上、人材育成 生産技術開発センター開所 産学金官連携、岐阜大内に
2021/4/20	中日	航空宇宙研究拠点 岐阜大構内に開所 生産技術開発センター
2021/4/20	読売	航空宇宙産業の新拠点 岐阜大敷地に 技術開発や人材育成
2021/4/20	毎日	航空宇宙開発の拠点に 岐阜大で生産技術センター本格稼働 工作ロボや運搬技術など開発
2021/4/20	日本経済	航空機部品の生産 効率化 岐阜大・名大が新研究拠点 AI管理や人材育成
2021/4/20	中部経済	岐阜大の宇宙産業拠点が本格稼働
2021/4/21	朝日	航空宇宙研究拠点 岐大の構内に開設 ～ 航空宇宙生産技術開発センター ～

## 岐阜大に最高評価 文部科学省「拠点大学による地方創生推進事業」

### 【概要】

本学は、地域活性化の拠点となる大学の形成を目的としたCOC事業、及び、それを引き継いだ、複数大学等で協働して地域が求める人材を養成し、その人材を地域に定着させるような大学の取組みを支援するCOC+事業において、3度の評価全てで最高の「S」評価を獲得しました。3度の評価において全て「S」を獲得したのは、全国で本学のみとなります。

地域に根ざした国立大学として地域の課題解決に取り組み、地域の活性化に貢献することを目的として設立されたのが地域協学センターであり、28の自治体と包括連携協定を結ぶなど、地域や地域産業界とも連携して様々な取組みを進めています。

取組みの核となる「次世代地域リーダー育成プログラム」は、「地域を知り」「地域の課題を見つけ」「地域の課題解決に向けて行動する」能力を備えたグローバルな人材を育成することを目的としており、全学部生に向けて本プログラムの受講を推進しています。なお、本プログラムは、地域リーダーコース・産業リーダーコース・教育リーダーコースの3つのコースで構成されており、他大学や自治体、企業等と協働して取組みを進めていることも大きな特徴の1つとなっています。

また、「ぎふフューチャーセンター」と呼ばれる、学生を含めた多様な人々が地域の課題解決に向けた対話を行う場の創出や、複数の学問の協働によって地域の課題解決を図る「地域志向学」の推進などにも力を入れています。

今後は岐阜県を含めた東海地域に範囲を広げながら、地域創生SDGsの推進拠点として、「次世代地域リーダー育成プログラム」内に新たに環境リーダーコースを設置する等、今までに取り組んできたことを更に発展させながら、東海地域全体の様々なニーズに応えるプラットフォームとして邁進していきます。



説明する森脇学長



説明する益川地域協学センター長

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/4/2	岐阜	地方創生推進カリキュラム 岐阜大「最高評価」 文科省事業 ～ 地域協学センター 益川浩一センター長 ～
2021/4/6	中日	岐阜大に最高評価 文科省の「拠点大学による地方創生推進事業」 森脇学長「人材定着に貢献」 ～ 森脇久隆 学長, 地域協学センター 益川浩一センター長 ～